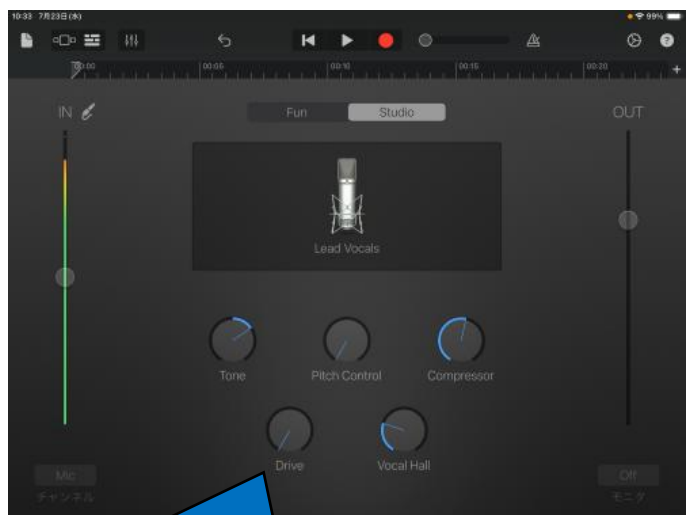


【教科】 ガレージバンドアプリ（音楽科）



ギター（コード）



マイク（録音可）



いろいろな楽器のセッション



ドラム

【キーワード】 楽器をもっと、お気楽に

【特徴】

- いろいろな楽器（キーボード、ドラム、ギター、ベース、バイオリン、ヴィオラ、コントラバス、民族楽器など）を画面タップで鳴らしたり、自動で演奏したりすることができる。
- コード（和音）の押さえ方などを知らなくても、簡単に鳴らせる。適当に触っただけでも楽しい。
- 録音した音声や楽器を鳴らしたり、音声を加工したり、DJ のような操作（スクラッチや瞬間的な音程や音質の変化や繰り返しなど）をしたりすることもできる。

【使用目的】

- 音楽の授業で、器楽の内容として幅広く活用できる。楽器の音色紹介や合奏、楽器体験として、音楽室に無い楽器や、取り扱いに特に注意が必要な楽器でも、バーチャルではあるが体験することができる。
- 音楽の授業や国語や自立活動の授業で、音声を録音して再生することによって歌唱や発音の練習にも活用できる。

【使用方法】

- iPad にガレージバンドをインストールする（無料）。
- 気楽にいろいろなアイコンをいじる。取り返しのつかないことになることは、ほとんど無いと思います。

【使用事例】

- 小学部5年生の音楽の授業で、アンサンブル（一緒に演奏すること）の学習で活用した。いろいろな楽器の音の重なりを鑑賞したり、児童の iPad にもインストールして、各自の iPad でいろいろな楽器を鳴らしてアンサンブルをしたりした。
- 小学部5年生で、実際の楽器を鳴らすことに苦手意識をもっている児童も、自主的に鳴らすことができた。休み時間にも自主的にガレージバンドのアプリを立ち上げて、操作して楽しそうな様子が見られる。
- 小学部5年生の文化祭の模擬店で、催し物のひとつとして、児童がこのアプリで演奏しているのをデモンストレーションしたり、お客さんにやってみてもらったりするということを行った。
- ギターやピアノが手元に無くても、コードネーム（C とか F とか）が載っている譜面を見て iPad で簡易演奏ができる。